

12月5日(月)

より 酷い の は ど ち ら か

聖書朗読 ヤコブ 5:13~2

罪人を迷いの道から引き戻す者は、罪人のたましいを死から救い出し、また、多くの罪をおおうことになるのだということを、あなたがたは知っていない。

ヤコブ 5:20

ポジションがラインバッカーであるアンドレ・パーカーが、大学のアメフトの試合で間違った方向に走っていく動画は有名です。相手チームの選手が落としたボールを拾いあげ、58ヤードというコートの上の半分以上の距離を間違った方向に走ってしまいました。こういう事をした選手は少なくとも5人います。

パーカーは、ディフェンス専門の選手でした。それは、2012年の最初の試合での出来事でした。ボールを持つ機会が訪れました。相手チームの選手がボールを落としたのです。パーカーは、相手チームの2人の選手にタックルされるまでそのボールを持って全速力で58ヤード間違った方向に走って行きました。

ほとんどのメディアはパーカーの過ちに注目しました。しかし、彼のチームメートの責任はどうでしょう。現代で多くの人が、自分でも知らないうちに破滅の方向に向かって真面目に走っています。

フィールドのラインの外から、その人たちが滅んでいるのをただ見ているだけです。彼らのチームメート、同僚、友だちになりたいものです。その状況から友人たちを助けたいです。祈って、飛び込んでいきましょう。兄弟姉妹も同じようにしてくれることを期待します。

讃美歌 神の国と神の義を

祈り 主よ。お互いに励まし合って人生を送ることができますように。教えや指示が必要な時、喜んで耳を傾けさせてください。イエス様のお名前によって。
アーメン。

マーク・R・ガイ

オハイオ州 ウェストキャロルトン

今日 の 力

2022年12月5日~12月11日

翻訳 真由美・ハンコック
(コールド・スプリングキリストの教会)

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月6日(火)

蛙の子は蛙

聖書朗読 I ペテロ 1:1~7

私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。

I ペテロ 1:3

シドさんは、スーパーにステーキ肉を買いに行きました。棚と棚の間を通り 次の棚へ向かおうとした時とても驚きました。少し離れたところに、彼の父親そっくりの人がいたからです。じっとその人を見たかったものの我慢しました。カゴの中の自分の買ったものなどを見つつ、チラチラその人を見ていました。ところが、なんと！食肉コーナーの壁の大きな鏡に映った自分を見ていたのです！そこで、「お父さんそっくりだね」とよく言われることに納得しました。

私たちは神様に似るように「父に選ばれて」います。それは少しずつ起こります。「栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」(II コリント 3:18)

神様が与えてくださったのはこれです。「神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエスキリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせ、生きる望みを持たせてくださいました。」キリストにあって私たちは、「様々な試練の中で悲しまなければならぬ」にも関わらず、「神の御力によって守られて」いるのです。「金よりも高価」な神様からの贈り物に「喜び踊る」ことができます。イエス様によって、神様がどんなお方か知ることができましたので、神様に似たものになろうとすることができるようになりました。

聖歌 521

祈り 主なるイエス様。あなたに似たものとなれますように。心で思ったり話したりする時にあなたのお名前でし、あなたの思いを持ち、あなたの足跡を辿っていくことができますように。アーメン。

ボブ・マイズ

テキサス州 ラボック

12月7日(水)

親切な行為

聖書朗読 II ペテロ 1:3~11

これらがあなた方に備わり、ますます豊かになるなら、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストを知る点で、役に立たない者とか、身を結ばない者になることはありません。
II ペテロ 1:8

友人と昼食に出かけました。注文の時に「お客様のランチは今日は無料ですので、お好きなものをどうぞ。」と言われました。ウエイトレスは注文を取り、奥に行きました。

私たちは意味が理解できませんでした。「ランチ無料！」といったようなポスターはどこにもありません。食事の後、もちろん支払うつもりでいました。しかし、ウエイトレスは「お支払いはしていただかなくて結構です。」と言うのです。「なぜ支払わなくていいのか？」と私たちは質問しました。ウエイトレスは、「あちらの席に座られていた男性の方がお二人のランチの代金を支払ってくださいました。」と、やっと話してくれました。もうその男性はそこにはいませんでした。どんな男性だったかもはっきり覚えていませんでした。しかし、彼の「ランダムな(無作為な)親切な行い」は私たちに強い印象を与えました。

この男性はお金を使って親切な行いをしました。しかし、親切な行いをするには、必ずしもお金はいりません。笑顔、優しい言葉、年配の方や体の不自由な方に順番を譲る、道を急いでいる人に道を譲る、手紙を送る、訪問する、挨拶する、適切な場面でのハグは、誰かを力づけます。

例えば、私の友人が腕を骨折していた時、スーパーで手伝ってくれた他のお客さんに強い感銘を受けていました。その女性にとってはなんでもないことだったかもしれませんが、友人には重要なことだったのです。

ガラテヤ人への手紙 5章 2 2節の御霊の実には、親切も入っています。愛、喜び、平安、寛容、善意、誠実、柔和、自制もあります。これらの性質は、毎日の私たちの生活に染み込んでいるはずで。

讚美歌 II 26

祈り 親愛なる神様。親切な行いをする機会が訪れたら、それを見逃さず、実行することができますように。

スー・レイサム

12月8日(木)

愛は絶えることがない

聖書朗読 Iヨハネ 4:6~11

こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。
Iコリント 13:13

人生は旅路で、愛が人生に意味をもたらしてくれます。負けても失敗しても勝利に向かって愛と共に人生の旅路を続けます。

神様は私たちに永遠の思いを授けてくださり、神様の似姿に私たちを創造してくださいました。私たちが神様の似姿であるので、私たちは神様を愛し 他の人を愛するように創造されたのです。

神は愛です。神様はこう言われました。「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに誠実を尽くし続けた。」(エレミヤ31:3)

私たちは神様に愛されていることを知っています。その理由がこれです。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ3:16)

私たちは神様に愛されていることを知っています。その理由がこれです。「私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます」(ローマ5:8)。

弟子のパウロは言いました。「愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます。すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。愛は決して絶えることがありません」(Iコリント13:4~8)。

讃美歌 87B または、LOVE LOVE LOVE

祈り 私たちの愛なる神様であられるお父様。あなたの私たちへの愛と恵みに感謝いたします。私たちの罪を赦して、私たちの行く道を引き続き示してください。イエス様のお名前によって。アーメン。

S・ビル・ジメイズ
カリフォルニア州 サンフランシスコ

12月9日(金)

勝利を得る者

聖書朗読 黙示録3:8~13

私は真実の道を選び取りあなたのさばきを私の前に置きました。
詩篇119:30

「自分は勝利者だ！」意欲に満ちた競技者や重役たちが競技やインタビューの時にこう言って自分を鼓舞します。

しかし私たちの精神的な生活では、キリストに属する者としてこの言葉は本当のものなのです。宇宙の造り主は私たちに良い計画を持っており、それは正しく機能します。神様は私たちと一緒にいてくださいます。この人生でも、次の人生でも。私たちが地上で生きる時間は短いのです。

私たちの外なる体は年を取りますが、もし内なる体を見ることができれば日々それは美しさを増していっているのです。そのうちに、私たちの霊は体から離れ造り主のところに飛んで行くでしょう。私たちはこの約束に希望を持っています。それゆえ、深い意味でいうあらゆる点で私たちは勝利者なのです。

ですから、勝利者のように考え勝利者のように振る舞いましょう。神様の約束を信じてください。その信仰が私たちを下ではなく上に向かせ、不機嫌さではなく希望を持たせます。もちろんこの人生には困難や問題がありますが、主が主導権を握っておられますので、私たちは勝利者以上の者なのです。これはどういうことなのかというと、困難な中でも勝利しているということです。

私たちの喜びは、主を知ることによって もたらされるのです。ハレルヤ！

讃美歌 主はすばらしい

祈り 親愛なる主よ。イエス様をありがとうございます。イエス様が永遠の家に行くことを可能にしてくださいました。そして、それは何よりもかけがえのないものです。イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョーン・クレイトン

12月10日(土)

小さな始まり

聖書朗読 マタイ 13:31~33

もしあなたがたに、からし種ほどの信仰があったなら、この桑の木に「根こそぎ海の中に植われ」と言えば、言いつけどおりになるのです。 ルカ 17:6

母が台所でパンの焼く匂いを覚えています。母がパン種と小麦粉を混ぜるのを眺めていたものです。小麦粉が膨らむのはパン種のお陰であって、小麦粉だけでは膨らまないと母は説明してくれました。大きな入れ物に入った小麦粉を練ったものを見ると、パン種には力があるようには見えません。しかし、膨らませるのは酵母のお陰なのです。

とても小さなものから大きくなるものは、他に何があるでしょう。この最も短いイエス様の譬え話に聞いている人たちは驚きました。イエス様は言われました。初めは小さいことから始まります。神様のみわざは目に見えないかもしれません。一粒のからし種大きく成長し他の生き物の憩いの場となるのと同じように私たちの働きも最初は目に見えないことから始まるのです。

この世の世界では、何事も大々的なオープニング、キラキラした背景、スポットライトなどから「始まり」ます。きれいに飾り付けられた社会に生きています。しかし、イエス様は赤ん坊の姿でこの世においでになりました。そして、イエス様は、一人一人に福音を宣べ伝えていきました。そして、私たちはイエス様の御国の実を毎日見えています。まだ神様を見ることのできない人々もイエス様の十字架と復活により、罪を赦されているという祝福に満ちています。

私たちはパンの焼ける匂いを嗅ぎ、そのパンを頂きます。パン種を見ることはありませんが、パン種は確かに役目を果たしています。神様の愛もそうなのです。神様の愛によって全てを変えることが出来るのです。

讚美歌 豊かな人生の条件は

祈り 主よ。力強く大きなものを求めています。今日、あなたの前にひれ伏し祈る前に、あなたがお約束して下さった小さな始まりに目を留めることができますように。あなたの働きと計画に焦点を当て、私が歩んで行けますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

スティープン・S・レムリー
編集者

12月11日(日)

歌って思い出す

聖書朗読 詩篇 54

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。 ペリピ 4:6

キャンプファイヤーを囲んで歌うことや、時間が早く過ぎるようにとバスや車の中で歌うことを考えてみてください。そういう時に歌うのは、元気が出る歌や面白い歌です。しかし、イスラエルが歌った詩篇の歌は多くがシリアスなものです。そしてその詩篇に音楽を付けて讚美していました。

トールキン3巻本の最後の作品(指輪物語)には、二人の小さなホビットがファンタジーランドの悪の力を破壊する任命を受け、主人公の友人である控えめなサムがひとりぼっちになったり、迷子になったり、悪の力にもう少しで捕まってしまうなどの危険な旅が描かれています。

驚いたことに、そういう時、サムは故郷の歌を歌いました。それは素朴な子どもの歌です。トールキンはこう書いています。サムがその歌を歌うと「彼の中から新しい力が湧き起こった。」

ダビデが歌ったときも同じようなことがありました。ダビデは自分がどんなに孤独か、どんなに将来が絶望的か、敵がどんなに強いかを語りました。それが、詩篇の最後になると、神様の現実の姿を見て、神と神の愛と神の救いを大声でほめたたえています。

ダビデの歌は神様が過去にどんなことを彼になさったのかを思い出させるものとなっています。私たちも神様のすばらしさを思い出すまで歌いたいものです!

私は、進んでささげるささげ物をもって、
あなたにいけにえをささげます。
主よ。いつくしみ深いあなたの御名に感謝します。
神は、すべての苦難から私を救い出し
私の目が私の敵をながめるようになったからです。
詩篇 54:6~7

聖歌 472

祈り 偉大なる羊飼いや。あなたの約束をほめたたえます。私たちは忘れてしまっても、あなたは覚えてくださっているからです。私の力をではなく、あなたの力を歌います。イエス様のお名前によって。アーメン。

エミリー・レムリー
編集者